

平成15年度「佐賀環境フォーラム」実績報告

1 実施体制

(1) 組織体制 組織体制は、佐賀大学・佐賀市・学生ボランティアで構成する実行委員会形式。

(2) 事務分担

□実行組織:佐賀大学・学生ボランティア〔講義・ワークショップの企画、教室・機材の手配、受講者誘導・講義資料の印刷などの運営全般。〕

□事務組織:佐賀市〔広報・市民・企業受講者の募集・受付、現地見学の企画・手配、経理事務。〕

2 受講状況等 (平成15年度)

(1) 受講要件

◇市民：居住条件等制限なし(県内外問わず)・50名まで

◇企業：所在制限なし(県内外問わず)・10社まで

◇学生：佐賀大学学生・佐賀大学以外の大学・専門学校生・高等学校生徒

(2) 受講料 ※平成15年度

◇市民： ○受講料(年間) 5,000円

◇学生：大学生・高校生 ○受講料(年間) 1,500円

◇スポット受講者：数講義分みの料金設定(事前申込制) ○1講義のみ1,000円 ○3講義まで2,000円

◇企業受講：法人対象。 ○受講料(年間)1口 5,000円 ※1口で1人の枠とし、誰が来ても構わない。

(3) 受講者数 ※平成15年度

■ 一般47名 (一般34名,スポット受講者13名) ■ 法人8名(6社) ■ 学生110名(内、高校生1名)

3 講義

(1) 概要

講義は、働いている市民が参加しやすいよう夜7時から開始。環境について様々な視点から勉強できるよう、佐賀大学の教授陣のほか、他大学の教授、企業の担当者、行政担当者など各分野の講師からなるオムニバス形式。

(2) 講義内容 (平成15年度)

■講義日 火曜日・木曜日 [平成15年5月27日(火)～平成15年7月15日(火)]

■時間 19:00～20:30(講義90分)

■場所 佐賀大学

	月 日	講 義 内 容	講 師
①	5月27日(火)	・環境問題総論	佐賀大学理工学部教授 宮島 徹
②	5月29日(木)	・宇宙規模で考える地球環境と生命	佐賀大学名誉教授 村上 明
③	6月 3日(火)	・佐賀平野における地下水の流動形態と水質変化	佐賀大学理工学部教授 岩尾 雄四郎
④	6月 5日(木)	・平成14年度ワークショップ成果報告	グループワークショップ 参加者代表
⑤	6月10日(火)	・九州電力における環境経営への取り組み	九州電力(株) 環境部管理グループ長 石崎 浩
⑥	6月12日(木)	・環境とアレルギー疾患	佐賀医科大学 小児科 市丸 智浩
⑦	6月17日(火)	・人がつくった水生生物の楽園	佐賀県立宇宙科学館 事業課企画主任 中原正登
⑨	6月24日(火)	・容器包装リサイクル法とPETボトルのリサイクル	PETボトル協議会副会長 森 章次
		・ポリエステル原料リサイクルによる完全物質循環社会形成への取り組み	帝人(株)グループ理事兼CTO補佐 鈴岡 章黄
⑩	6月26日(木)	・佐賀市における環境ISOの取り組み	佐賀市環境課環境企画係長 安藤 健一郎
		・佐賀市における環境教育の取り組み	佐賀市教育委員会 学校教育課指導主事 江浦 伸昌
⑪	7月1日(火)	・化学物質の生体影響評価	化学物質評価研究機構 久留米事業所第四課長 前田 正伸
⑫	7月3日(木)	・化学物質の健康リスクー環境ホルモンを中心としてー	佐賀医科大学教授 友国 勝麿
⑬	7月8日(火)	・環境浄化と微生物	佐賀大学農学部助教授 染谷 孝
⑭	7月10日(木)	・海の宝物ー海藻資源	海浜台地生物環境研究センター 助教授 亀井 勇統
⑧	7月15日(火) (台風の為振替)	・九州佐賀の植物の系譜	佐賀大学文化教育学部教授 宮脇 博己

4 現地見学

(1) 概要

「現地見学」は、現地で実際に見て体感してもらうことで、机上の環境問題と自分の身近な環境とを直接結びつけて考えてもらいたいとの思いから「自然」「廃棄物」「水」を主テーマに、現地での体験を通じた講義を実施

(2) 内容(平成15年度)

- ①清掃工場・処分場見学・ペットボトル蓋取り体験
- ②自然見学・魚とり体験
- ③下水道・水道施設見学・水質測定

5 ワークショップ

(1) 概要

「グループ・ワークショップ」は、参加者がグループに分かれ、それぞれに研究テーマを決めて研究活動をするものです。これは、単に講義を受けるだけでなく、何が本当に正しいのかを自ら調べることで環境問題の本質を把握してもらうことを狙いとしています。

この研究の成果は、佐賀大学の目的志向型研究や佐賀市の環境施策に提案しています。

(2) 平成15年度テーマ

1) 第1部 平成16年1月27日(火) 19:00～

- ①「環境教育ボランティア」
- ②「地球温暖化問題」
- ③「エコツーリズム」
- ④「ごみ問題」

2) 第2部 平成16年1月29日(木) 18:30～

- ①「身近な自然」
※「佐賀大学付属中学校生徒共同研究発表」
- ②「環境教育拠点施設運営」
- ③「身近な生活環境問題」
- ④「家庭版環境ISOの策定と普及」

6 その他の試み

(1) 佐賀大学ネット授業での活用

- 講義をビデオ撮影し、これをネット授業として配信
- 講義をDVD化し、ライブラリー化(H16年3月予定)

(2) ワークショップのビデオ化

- ワークショップのダイジェスト版ビデオの編集作成(H16年3月予定)

(3) 特別現地見学会の実施

講義後に特に要望が高かった(株)帝人ファイバー徳山工場のペットボトルリサイクルの新技术について、特別現地見学会として、現地に赴き勉強した。

7 アンケート

◇前期講義終了後、市民学生を対象にアンケート調査を行った。 — 結果【別冊】